

【多発性骨髄腫】

レジメン名称 : DBd皮下(4~8サイクル)

インターバル日数 : 21 日

催吐性リスク : 最小度

基準日: day1

使用する抗がん剤:

Rp	手技	薬剤名称	標準値	上限値	投与	ルート	組織侵襲性
1	皮下注	ダラキューロ配合皮下注	1800mg/body	-	day1	-	非炎症性
2	皮下注	ボルテゾミブ注射用	1.3mg/m ²	-	day1、4、8、11	-	非炎症性
3	内服	レナデックス錠4mg	20mg/body	-	day1、2 day4、5 day8、9 day11、12	-	-

Rp	手技	薬剤名称	用量/単位	day1	day4	day8	day11
1	皮下注	ダラキューロ配合皮下注 翼状針使用のため15.5mlで調製 皮下投与	1800mg/body	投与順1			
2	皮下注	ボルテゾミブ注射用 生理食塩液 3mg/Vを1.2mlで溶解(2.5mg/ml)、必要量を採取 皮下投与	1.3mg/m ²	投与順2	投与順1	投与順1	投与順1

Rp	手技	薬剤名称	用量/単位	day1	day2	day4	day5	day8	day9	day11	day12
1	内服	アセトアミノフェン錠500mg	1000mg	1000mg							
2	内服	ポララミン錠2mg	2mg	2mg							
3	内服	レナデックス錠4mg	20mg	20mg	20mg	20mg	20mg	20mg	20mg	20mg	20mg

★ 前処置(アセトアミノフェン、ポララミン、レナデックス)はダラキューロの投与1時間以上前に投与終了

★ 輸血時の間接クームス試験に影響あり